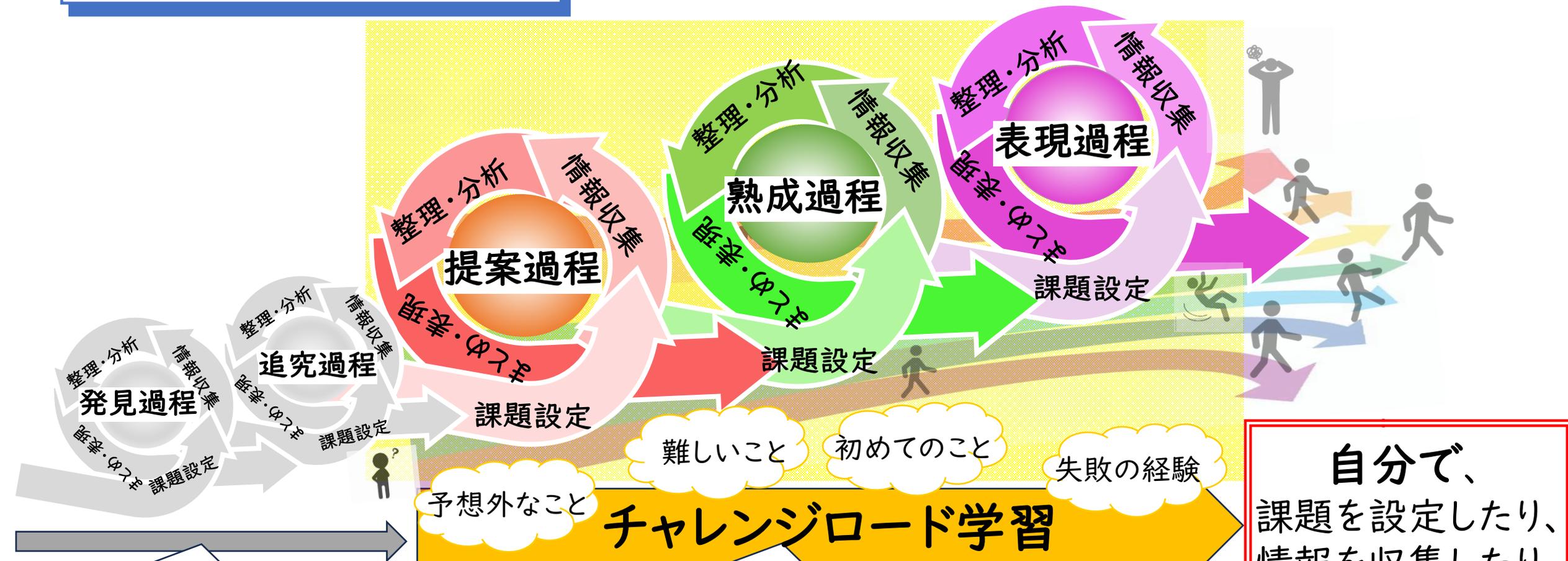


教科を通して自己の学びを創造する、探究的な学び

～問いを起点として学びを切り拓き、自分の考えを育む児童～

1. 一年次から二年次へ
2. 研究の背景と枠組み
3. 実践の全体像
4. 児童のふりかえりとアンケートの、分析・考察
5. まとめ



みんなで、

探究的な学習に取り組む

(探究課題に対する**共通**の認識を
深め、意識を高める学習過程)

自分で、

探究的な学習に取り組む

(探究課題に対する**自分の**認識を
深め、意識を高める学習過程)

自分で、

課題を設定したり、
情報を収集したり、
整理・分析したり、
まとめ・表現を
したりする児童

01

教科学習でも、「探究的な学び」をデザインする



問いを起点とした
教科学習のデザイン

児童理解に基づく
支援と教師の関与

教科の知識

課題や興味



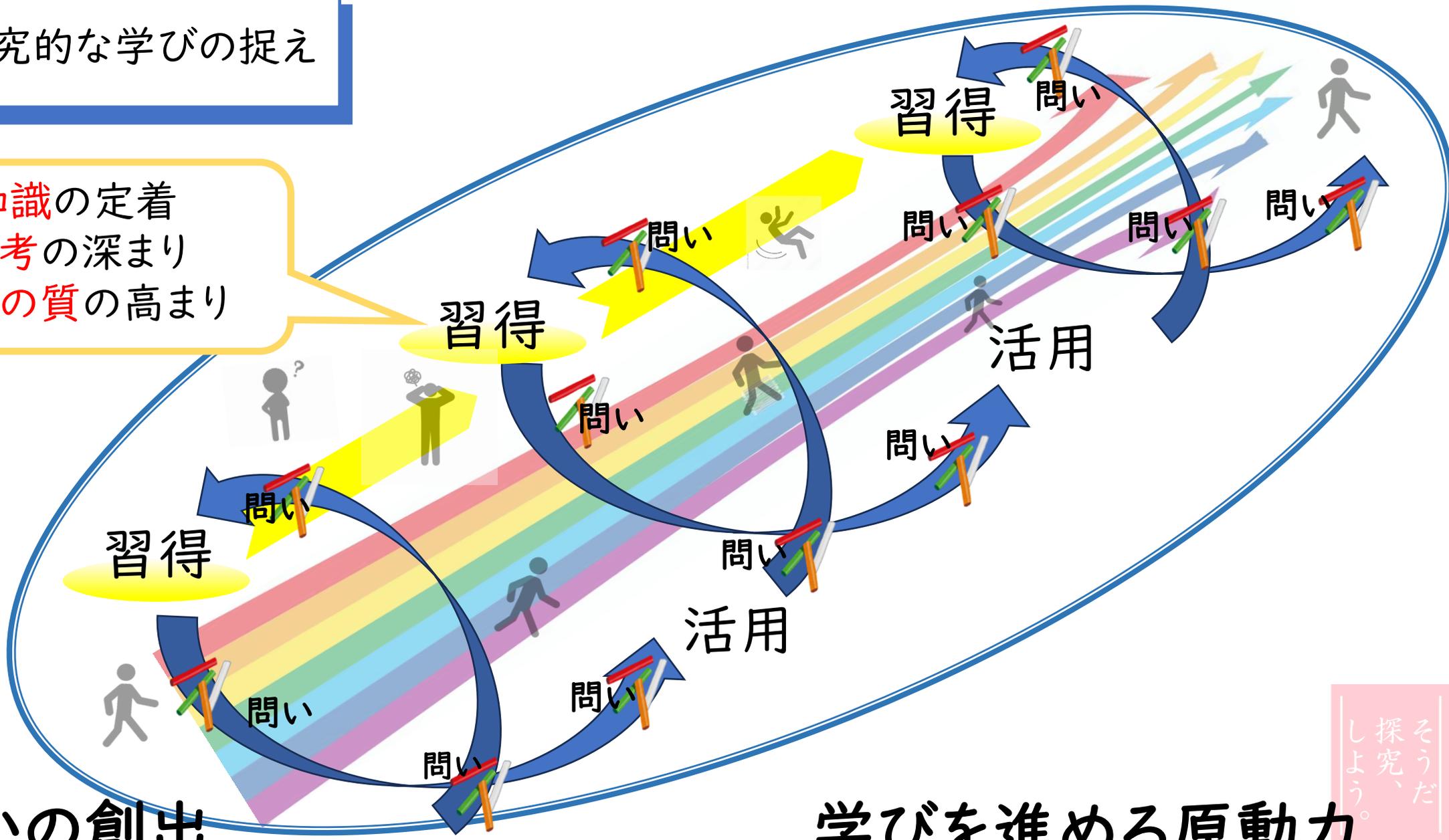
そ
う
だ
探
究
、
し
よ
う
。

TAN-Q



活動は進む。思考は？

知識の定着
思考の深まり
習得の質の高まり



問いの創出

学びを進める原動力

「そう、だ
探究、
しよう。」
TAN-Q

児童の実態

- ・すでに育っている能力
- ・育ちつつある能力
- ・生活環境、学習環境



探究的な学びを実現する 単元的设计

- ・多様な学びが期待できる教材
- ・思考を自分のペースで促すことができる教材
- ・自分の生活に結びつく教材



指導観、 教材観

- ・教科をどう捉えるか
- ・教材を通して何を学ぶのか



児童が、主体的に学ぶことができる場を整える。

3-1

児童の実態と 教師の願い(算数科)

算数は苦手だ…

空き時間に、わからない問題を
聞きに来ている児童の様子

でも、できるようになりたい！

どれくらいの広さかなあ…

総合的な学習の時間に、畑を見て広さについて
会話している様子

長方形の面積は、計算するだけで、簡単だった♪

学んできたことを活用して、
新しい問題に挑戦する達成感を味わってほしい！

面積の学習を通して、計算するだけではなく、公式を
考えたり説明したりすることで、算数の魅力を感じて
ほしい！



児童の実態と 教師の願い(国語科)

授業の様子

漢字は覚えられるけど、文章を
読みとれるようになりたい！

読書はあまり好きじゃないけど、
読むなら物語。

言葉を大事にしながらじっくりと読んで
考えることを楽しんでほしい！

授業の様子

授業の様子

役に立ちたい！

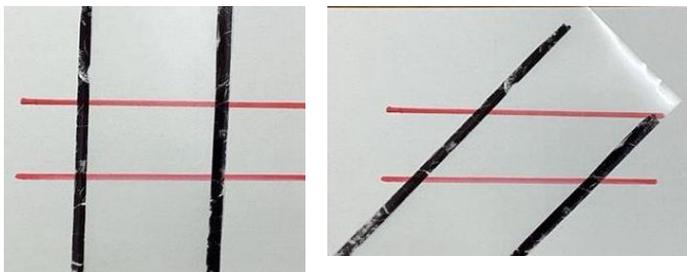
人を喜ばせたい！

一人ひとりが「やなせたかし」という教材を通して
教材と向き合い、自分の考えを表現したり、仲間との関
わりの中で考えを広げる充実感を味わってほしい！



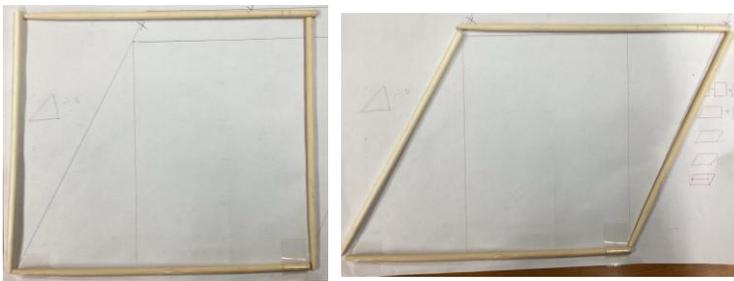
3-1

〈算数科〉意外性のある導入



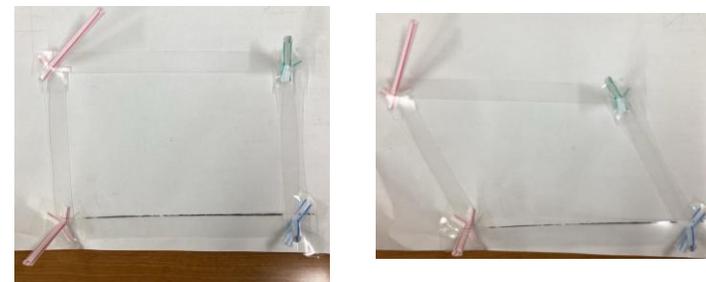
赤2本(用紙)と黒2本(透明シート)を重ねてできた長方形を变形する案

「高さ」を変えながら変形することができない…。



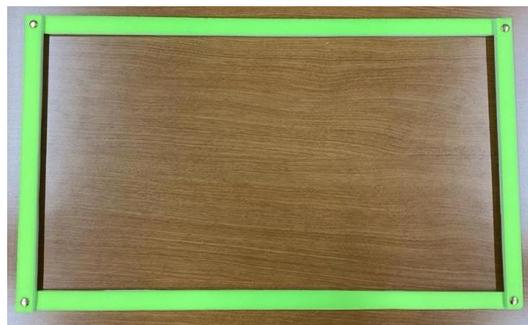
割りばしを使って長方形を变形する案

「高さ」は変えられるけど、児童が自分で変形するには、操作しやすいものがない。



ストローと透明シートを使って長方形を变形する案

頂点が固定される箇所と、動く辺を作ることができたし、操作しやすいけれど、量産するには時間がかかる…。

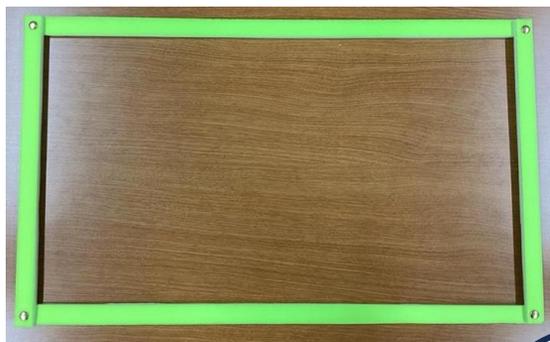


「高さ」が変えられる!

操作もしやすく、量産できる!

3-1

問いの創出

面積は
同じかな...?

長方形を倒してできた平行四辺形の面積は、
もとの面積と同じだと思いますか？

面積は変わらない！

辺の長さが変わらないから、
面積が変わるはずがない。

内角の和も変わらないから、
絶対面積は変わらない！

探究のプロセス		事前	第一次 (3時間) 平行四辺形の公式について考え、等積変形の考え方を知る。	第二次 (1時間) 倍積や半積	面積の概
探究のプロセス	自分にとっての「面積」について	T: このポストカードを見てください。どんな形をしていますか？ C: L字型だね。 T: そうですね。では、これまでに学習してきた方法を用いて、この	<p>＜平行四辺形＞</p> <p>T: 長方形を倒してできた平行四辺形の面積は、もとの面積と同じだと思いますか？</p> <p>C: 横に細長くなったから、小さくなったと思うよ。 C: 見た目じゃわからないなあ。 C: どうしようか。平行四辺形の縦は垂直の半分が高さだね。 C: 平行四辺形の縦は垂直の半分が高さだね。 C: 形を変えても面積は変わらない。 C: 平行四辺形の面積で表す学習をしました。今日から5年生での「面積」の学習をします。どんな学習をするのかな。</p> <p>＜直角三角形＞</p> <p>平行四辺形は、長方形の半分を求めたね。 直角三角形に補助線を引いて、回すと、長方形になるよ。</p> <p>この三角形をもう一つ作って合わせると、長方形になる！長方形の半分の高さだが、三角形の面積になることがわかったよ。</p> <p>補助線を引くと、直角三角形が2つできるよ。知っている形に分けて考えると、面積が求められるんだね。</p>	<p>右の三角形を切って左に動かしたら平行四辺形になるよ。台形も、長方形に戻すといいのかな。</p> <p>対角線にそって切って並べたら、長方形になるよ。高さはどこになるのかな。</p> <p>T: いろいろな形の面積を求める公式をつくることができましたね。 C: どんな形も、長</p> <p>＜チャレンジ＞ 教師の用意した問題を解く。ねらい：習得した考え等を使って、未知の図形や複合図形の求積にも挑戦する。また、考え方を活用</p>	面積の概
具体的な目標		・平行四辺形の求積公式を導くことができる。	・それぞれの面積の求め方を考え、それぞれの求積公式を導くこと。 ・高さが外にある場合の平行四辺形の面積の求め方。 ・底辺の長さが等しく、高さも等しい場合の平行四辺形の面積の求め方。 ・三角形の高さや底辺の長さを変えて、面積がどうなるかを考える。	・面積の求め方を考えること。 ・高さが外にある場合の平行四辺形の面積の求め方。 ・底辺の長さが等しく、高さも等しい場合の平行四辺形の面積の求め方。 ・三角形の高さや底辺の長さを変えて、面積がどうなるかを考える。	面積の概
教師の働き		・問いかけエールを使うことで、「高さはあるのかな」や「ほかの形も平行四辺形に変形できるかな」など、児童が単元を貫く問いの出発点にできるようにする。	・ふりかエールを活用し、一人一人に応じた支援をしていく。 ・考えを整理できるようなワークシートや掲示物を用いることで、自分の考えのよさに気づくことができるようにする。	・面積の求め方を考えること。 ・高さが外にある場合の平行四辺形の面積の求め方。 ・底辺の長さが等しく、高さも等しい場合の平行四辺形の面積の求め方。 ・三角形の高さや底辺の長さを変えて、面積がどうなるかを考える。	面積の概

面積は
変わっている！

ふしぎ！

え！？
ほんまに！？

ゆっくり動かしたら、
いつ変わるか
わかるかも！？

おもしろい！

そんなはず
ない・・・

どうなっ
ているの！？

どうして！？

問いの創出の効果

長方形を倒してできた平行四辺形の面積は、もとの面積と同じだと思いますか？

面積は変わってる！

どうなってるの？

平行四辺形の面積は、どのような公式で求めることができるのだろうか？

平行四辺形の面積はどのような公式で求めることができるだろうか。

全部に共通する式

いろいろな求め方の中にある共通点に注目するとよい

どう解くか自分で決め
思考を開放する原動力

面積

10月 20日 (月)

平行四辺形の面積

平行四

～はがのやり方は？～

わけた

つなげる

(6) $4 \times 4 = 16$
 $1 \times 4 = 8$
 $16 + 8 = 24$

$\Delta 24$ 長方形をつくる

～説明～
 4×4 は、わけたまん中の正方形のたてと、横をかけた数から、まわりはなした2つの三角形をくっつけてかけ算して8にして、最後に16と8をたす。

平行四辺形の面積は、どのように求めることができるだろうか？

(6) は、 4×6 にできるんじゃないかな？

(8) $4 \times 6 = 24$

平行四辺形を、やりやすいうり方に直す方法、いろいろあるかな？

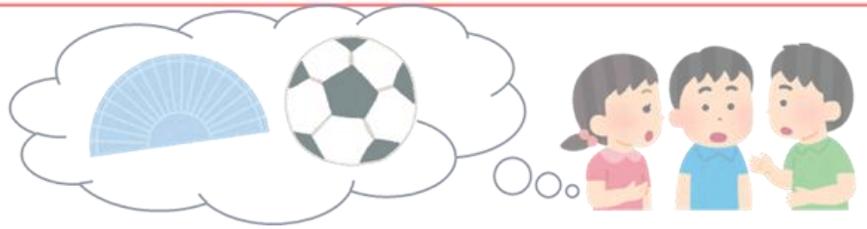
～疑問～
 ぶんどき、で使えるかな？

どうする？

どんな形でも、面積を求める公式はあるのだろうか？

図を切ったり、移動させて、長方形の形にするとよさそうだ！

形を変えても面積は変わらないね。

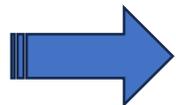


3-1

〈国語科〉意外性のある導入

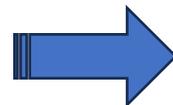


教科書にある本文を
読むことから始める



アンパンマン
のイラスト

やなせ氏の作品を紹介
することで人物に興味をもつ



並行読書

並行読書

児童がまだ知らない作品と出合うことで
その人物に興味をもてるようにする



並行読書を通じて、
人物像を抱かせたい。



ひとつの創作物だけでは、
このあと豊かな人物像を
抱くには不十分だ。



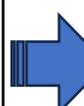
「もっと知りたい!」と思うことは
できても、人物への理解を
深めることができない。



アンパンマン
第一巻



アンパンマン
のイラスト



やなせたかし氏



残した言葉を紹介することで、
言葉に注目する視点がもてる!

詩や本など、多くの作品と
出合うことにつながる!

初めて知った！

雰囲気がちがう！

やなせさんの残した言葉を読むと、
作品に書かれていることとつながるよ。

作者は一体、どんな人物なんだろう？

探究のプロセス		第一次 (2時間)	第二次 (4時間)
探究のプロセス		<p>第一巻を読んで、どんなアンパンマンの面を知りましたか？</p>	<p>初めて知った！</p>
具体的目標		<p>C:知っていることもあったけど、初めて知ったこともあったよ。</p>	
教師の支援		<p>C:知っていることもあったけど、初めて知ったこともあったよ。</p>	

アンパンマン第一巻

アンパンマンのイラスト



やなせたかし氏

3-1

児童の反応

第一巻を読んで、どんなアンパンマンの面を知りましたか？

どんな人が作ったのかな？

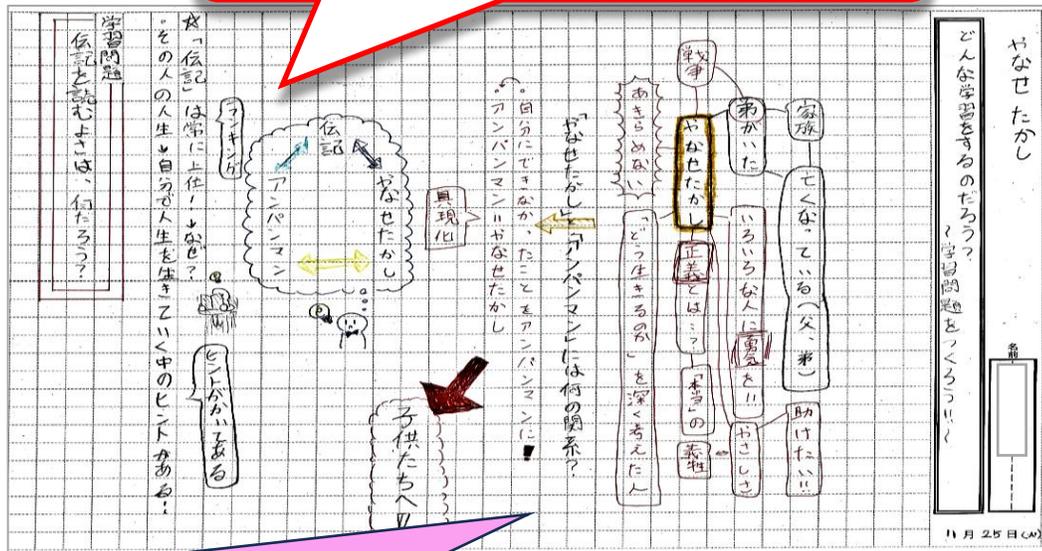
まだまだ知らない面がある…



書店には、伝記のコーナーが設けられているんだね。

伝記のジャンルは、人気ランキングでも上位だね。

多くの方が伝記を読んでいるのはなぜだろう？



伝記を読むと、何かいいことがあるんじゃないかな。

伝記を読むよさは何だろうか？



そう
だ
探
究
し
よ
う。
TAN-Q

3-1

問いの創出の効果

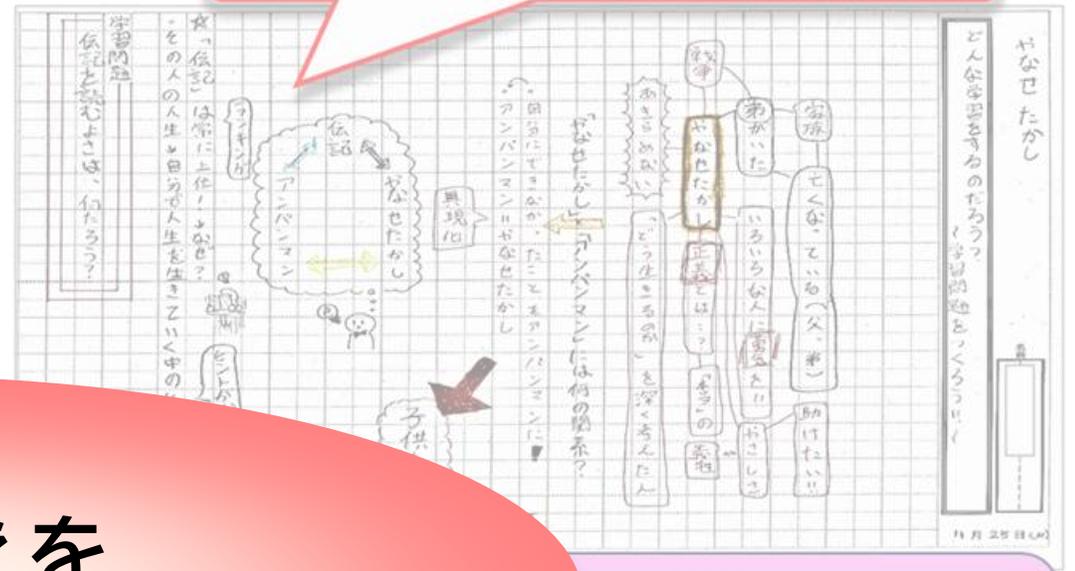
今日、新しく知ったアンパンマンのことはありましたか？

初めて知った！

一体、どんな人物なんだろう？

自分の答えを見つけるための道しるべ

多くの人が伝記を読んでいるのはなぜだろう？



いいことかもしれないと思うよ。

伝記をよむよさは何だろうか？

ほかの絵本や詩にはどんなことが書かれているのかな？

書店には伝記コーナーがあるし、人気ランキングでも上位だね。



違和感

認識の揺らぎ

見方が変わる

学びが動き出すきっかけ

考えを試す・使ってみる

問い直す

友だちの考えを聴きに行く

改めて納得する

立ち止まって考える

探究
しようだ

無自覚の自覚化

自分は何を根拠に
考えているのかを
言葉にする。

「なんとなく分かったつもり」を
そのままにしない。

思考を表に出し、
問い直す。

だって、この前の問題でも
こうだったから…。

わかったと思ったけど、
よく考えたら説明できないかも。

今までは意識していなかったけど、
改めて考えてみたらそうだった！

対話する児童の様子

学習の仕方を、学習する。

3-2

授業の裏側にある教師の思い
(インタビューより)

児童にとっての
「学ぶ・考える・わかる」
とは

概念の転用

学習を
「その場限り」にせず、
他の場面でも使える
「考え方」として
活用する。

教科で学んだことが、
生活の中でも
意味をもつ。

「このやり方」ではなく、
「何がわかったのか」を
大切にする。

ほかの教科でも、
「あ、この考え方使えそう！」と
思った。

ニュース見てたら、
授業でやったことが出てきて
『あ！これ知ってる！』ってなった。

どうやったかより、
今日は“なんでそうなるのか”が
わかったのがうれしい。



対話する児童の様子

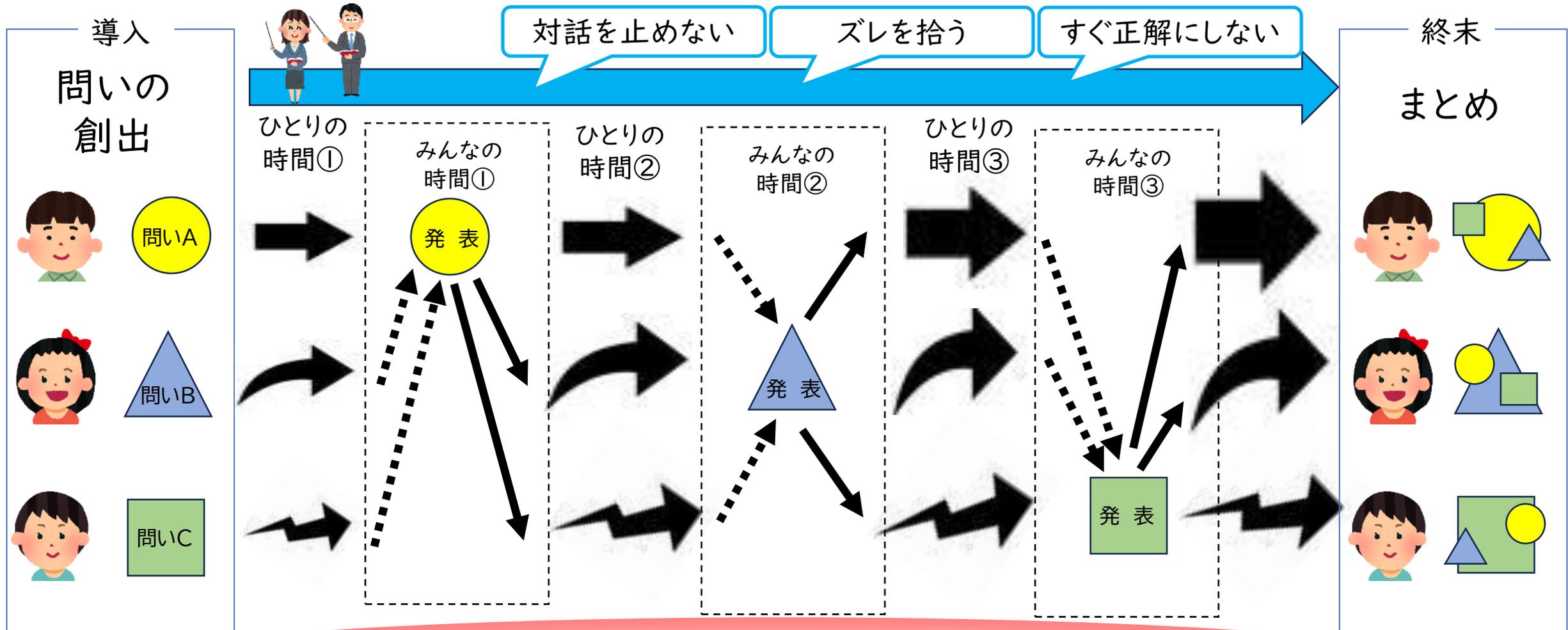
その単元で学んだことを、
別の問題や場面でも使えるものにする。

そ
う
だ
探
究
し
よ
う
。

TAN-Q

3-2

対話がもたらすもの



自分の考え方を問い直す→自分の考えを創る

だれと・いつ・どこで・どのように

◆「対話する必要がある相手」と「対話する必要があるタイミング」に「対話するに適した場所」で

図で考える^①とわかりやすいよ。

考え方が異なる相手と対話する様子
(算数)

わたしは式で説明してみたよ。

どれも正しいけど、^②どれが一番
「早くて、簡単で、正確」な解き方なのかな。

考えは同じでも、表現が違う相手と
対話する様子 (国語)

そっち言葉のほうが
気持ちが伝わりやすいね。

考えを比べ合う結果、気づいたら
床を使って対話をしている様子 (算数)

3-3

ふりかエールの記入例 —「みんなの学び」シートより—

ふりかえりをする児童

今日、したいことができたから！
自分がどんな読みをしていいのかわ
自由に考えることができてうれしい！

どんな気持ちで
本を書いているのか
気になった！

人物にとって「勇気」とは
なんだろう？

児童A→



児童B→



出席 番号	月日 （「今日」と入力）	今日したいこと	満足度	その理由	わかったことや考えたこと、 わらなかったこと、新たに生まれた疑問 など	次の、でしたいこと	〇〇さんの話を聞いて考 えた（書ける人は）
1	2025/11/25	どんな学習をするの だろう？～学習問 題をつくらう～	④	今日、したいことが できたから！自分が、 どんな読みをしてい いのか自由に考える ことができてうれしい！	やなせたかしさんは、 どんな思いで、絵本 を書いていたのかが 気になった！なぜな ら、やなせたかし さんは、色々な絵本 を書いているから。	やなせたかしにとっ て、「勇気」とは、何 だろう？	〇〇さんが言ってい たことに 納得した。
2	2025/11/25	どんな学習をするの だろう	③	自分だけで考えた から。でも、そこに いきつくまでに、 友だちに相談した。 これでいいのかわ 、ちょっと不安。	伝記は、人生のこ とを書いていること がわかった。「人生 」といっても 「出来事」も人生 だけ、「気持ちの変 化」も人生のひと つだと気づいてし まった。わかった こともあるけど、 わからないことが 増えた。	やなせさんの「正 義」とはどのよう なものなんだろう？	0

どんな学習を
するのだろう。

自分だけで考えたから。でも、そこに
いきつくまでに、友だちに相談した。
これでいいのかわ、ちょっと不安。

わかったこともあるけど、
わからないことが増えた。

人物にとって
「正義」とは
なんだろう？

《授業の始まりが変わる》

- ・前時の学びを想起
- ・今日の問いを再確認
- ・学びの見通しをもつ



《児童にとって》

- ・前時のふりかえりができる
- ・今日の問いを確認できる
- ・友だちの考えを参考にできる



《教師にとって》

- ・紙を持ち歩かなくてよい
- ・一画面で学級全体の学びを把握できる



ふりかえりをする児童

ふりかえりをする児童

ふりかえりをする児童

ふりかえりをする児童

“ふりかえり”のための日常作業ではなく
問いを中心に学びをつなぎ続ける仕組み

3-4 探究的な学びを捉えるための 4つの視点



問いの創出

- ・自分なりに課題や問いを見出そうとしているか。
- ・学びを深める方向へ問いを広げたり修正したりしているか。

考えをつくる 過程

- ・情報を収集・整理し、仮説や予想を立てて考えているか。
- ・筋道を立てて検証や考察を進めているか。

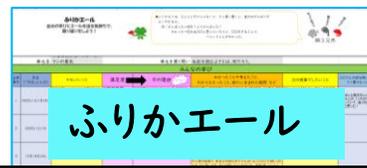
他者との 関わり

- ・友だちの意見を聴き、自分の考えを調整・発展させているか。
- ・協働を通して、新たな見方や考えを生み出しているか。

まとめと ふりかえり

- ・学びの成果をわかりやすく表現し、共有しているか。
- ・学びをふりかえり、次の課題や生活・社会へのつながりを見出しているか。

—あなたにとって、どのような学びでしたか?—



※単元末のふりかえりをカテゴリー化して分析

算数科

	カテゴリー名	定義(児童の状態を示すもの)
ひとりで悩むより、交流したほうが発見がある。	①対話の価値付け	対話が、自分の考えを広げたり再構成したりすることに気づいている。
自分で変形して、公式を作るのが印象的だった。	②自分たちで公式を導く主体性	公式が与えられているものではなく、友だちと考え自分たちで見つけられたと実感している。
このやり方でいいのかな?と、いろいろチャレンジしてみた。集中していたと思う。	③探究的に学ぶ楽しさ	試行錯誤して考えていくことで、興味、楽しさを実感している。
4年生で習ったことも大事だと気づいた。	④学習のつながりへの気づき	既習の知識が活用されてつながっていることに気づいている。
変形させたり向きを変えたりすると求められた。	⑤図形の見方の変容	図形を「そのまま見る」から、「切る、変形する」として捉える見方変わった。
わからなかったものが、どんどん解ける達成感があった。	⑥わからなさからの成長感	徐々にわかるようになったことを実感し、その過程を感じている。
公式を見つけると面白さが倍増した。	⑦公式の仕組みへの驚き	公式は「覚えるもの」ではなく「意味があり導かれるもの」という理解への転換。そこに驚きを感じている。
次は、円の面積を求めたい。公式があるはずだ。	⑧学習の見通し・予想をもつ	次の授業の予想をし、展開に興味をもって学習しようとしている。
みんなで授業をやり通せた。自分たちの授業。	⑨授業はみんなでつくるという認識	教師主導ではなく、児童の意見・交流を中心に進むものだ実感している。
底辺・上底・下底・高さなどの意味も理解できた。	⑩算数に関する語彙への注目	語彙を手掛かりに考えている。
見返すことで、次の授業につながった。	⑪ふりかえりの機能化	ふりかえりが、次時の問い・方向性を創る役割を果たしている。

—あなたにとって、どのような学びでしたか?—

①対話の価値付け

②自分たちで公式を導く主体性

③探究的に学ぶ楽しさ

④学習のつながりへの気づき

⑤図形の見方の変容

⑥わからなさからの成長感

⑦公式の仕組みへの驚き

⑧学習の見通し・予想をもつ

⑨授業はみんなで作るという認識

⑩算数に関する語彙への注目

⑪ふりかえりの機能化

自分の学びの方法・視点・心構えが変わる。

→熟考する姿勢への変容

知識が連続し、習得してきたものが活用されることに気づく。

→学びが連続する認識

「友だちとつくる授業・自分たちで見つける学び」に価値を感じる。

→協働による主体性の発揮

—あなたにとって、どのような学びでしたか?—



※単元末のふりかえりをカテゴリー化して分析

国語科

人生を紹介した本だと思っていたら、自分の考え方に影響のあるものだった。

読んだ本の人みたいに生きてみたい。

書いてあることだけではなく、出来事や行動からも考えたいと思った。

他の伝記を読んで比べて気づいた。

友だちの話を聞いて、なるほどと思った。

話し合ったり、比べたりすると、読み取れることがあると気づいた。

今まで興味なかったけれど、読む楽しさが増えた。

作品と作者の人生はつながりがある。

どうしたらいいのかなと知りたくなったら読む。

自分の考え方が変わったことを伝えられるようになった。

人の生き方だけでなく、その時代のことも知ることが出来た。

①伝記観の変容

②生き方への接続

③読みの深化

④比較による理解の広がり

⑤交流による気づき

⑥学習方法の自覚

⑦興味・意欲の高まり

⑧作者・人物理解の深化

⑨問いを持つ姿勢

⑩自己成長の実感

⑪知識の獲得

カテゴリー名

定義(児童の状態を示すもの)

伝記を、出来事の羅列ではなく、人物の考え方や価値観、生き方を読み取る対象として捉えなおしている。

人物の考えや行動を、自分の生き方や価値観と結び付けている。

表層面だけを読み取る→意味理解まで読み取る

複数の伝記や他者の読みと比較することで、人物理解や読みの視点を拡張している。

対話を通して、自分ひとりでは気づかなかった読みの視点や解釈を獲得している。

比べる、話し合う、読み取るなど、学習を進めるための方法そのものを意識化し、価値付けている。

伝記や読書そのものに対する関心が高まり、さらに読み進めたいという取り組む姿勢が強まっている。

作品と人物の生涯や考え方を関連付けながら、人物像を多面的に捉えている。

読書を通して新たな疑問や関心が生まれ、次の学習へとつながる問いを形成している。

理解の深まりや考え方の変化などの成長を自覚している。

人物の生涯や時代背景などを新たに得ている。

①伝記観の変容

②生き方への接続

③読みの深化

④比較による理解の広がり

⑤交流による気づき

⑥学習方法の自覚

⑦興味・意欲の高まり

⑧作者・人物理解の深化

⑨問いをもつ姿勢

⑩自己成長の実感

⑪知識の獲得

伝記をどう読むか、という見方を更新する。

→伝記理解への質的変容

読んだ内容を、自分の生き方を考える手掛かりにする。

→自己との関係付け

他者との関係の中で意味が揺さぶられ、再構成される。

→協働による考えの更新

次の学びへ向かう力が生まれる。

→学習意欲・新たな問いへ

国語科

- ・自分の読みを揺さぶられる
- ・他者の視点で読み直す
- ➡一緒に考える最中に、
自分の読みが揺さぶられ、
学びそのものが進む。

ふりかえりをする児童

話してる途中に、「あ、そういうことか」って
わかったよ。

算数科

- ・考えを比べる
- ・一般化する
- ・よりよい解き方を導く
- ➡一緒に考えた結果を
次の問題や別場面で使い
直すことで、自分の学びが進む。

ふりかえりをする児童

みんなで出した考え方が、次の問題
で使えたよ。

◆一人で完結しない
◆自分の考えと他者の
考えの相互作用

「見えた学び」を支えた「見えない教師」

算数科

×

国語科

《多く語られたこと》

- ・友だちとの交流
- ・自分で考えた経験
- ・気づきや見方の変化
- ・学ぶ楽しさ

《ほとんど語られなかったこと》

- ・教師の説明
- ・正解・評価
- ・教師の存在

「成果」よりも「過程」を主とした学習経験

《教師の役割》

- ・児童が自分でやったように見える授業は、実は教師が多く関与している。
- ・「**教師がいるのに、まるでいないかのような存在**」という成功。
(児童が自分を主体だと思っている=教師の関与が成功している)
- ・教師は、「教えない」のではなく、「児童が学びを創れるよう設計している」



04 学習への向き合い方の変容

(3回のアンケート結果より)

TAN-Q (児童の探究的な学びに関するアンケート)

児童が自分の学びをどのように探究的に捉えているか、その意識や姿勢を把握するために実施。

学級の意識傾向を把握するために実施し、目立った変化に着目して考察。

ふりかえりをする児童

京都市立A小学校 17名

①実践前(10月9日) ②実践中(11月17日) ③実践後(12月18日)

1:いいえ 2:どちらかというと、いいえ 3:どちらかというと、はい 4:はい

- ①授業でわからないことがあったら、自分で「なぜだろう」と考えるようにしている。
- ②自分の生活や経験とつなげて、「なぜだろう」と考えることがある。
- ③もっと知りたいと思うことを、自分の言葉で表そうとしている。
- ④わかったことをもとにして、つぎのことを考えるようにしている。
- ⑤いろいろな考え方や方法を比べながら、自分の考えを深めようとしている。
- ⑥友だちの意見をきいて、新しい考え方に気付くことがある。
- ⑦自分の考えや気付いたことを、相手に伝わるように話したり書いたりしている。
- ⑧学んだことを、自分の生活やこれからの生活に活かそうとしている。
- ⑨学習を通して、自分がどのように変わったかをふりかえっている。

授業の様子

授業の様子

表1 アンケート結果

	平均値			平均値の差			標準偏差			標準偏差の差
	①回目	②回目	③回目	②-①	③-②	③-①	標準偏差①	標準偏差②	標準偏差③	
1	3.29	3.41	3.59	0.12	0.18	0.29	0.85	0.71	0.51	-0.34
2	3.18	3.18	3.29	0.00	0.12	0.12	0.81	0.81	0.69	-0.12
3	2.94	3.24	3.35	0.29	0.12	0.41	0.75	0.66	0.49	-0.25
4	2.82	3.41	3.53	0.59	0.12	0.71	0.95	0.71	0.62	-0.33
5	2.71	3.24	3.35	0.53	0.12	0.65	0.85	0.56	0.61	-0.24
6	3.47	3.65	3.76	0.18	0.12	0.29	0.62	0.49	0.44	-0.19
7	3.18	3.18	3.35	0.00	0.18	0.18	0.64	0.73	0.70	0.07
8	3.00	3.06	3.35	0.06	0.29	0.35	0.50	0.83	0.70	0.20
9	2.59	3.00	3.24	0.41	0.24	0.65	0.62	0.71	0.66	0.05
平均	3.02	3.26	3.42	0.24	0.16	0.41	0.73	0.69	0.60	-0.13

自己の学びを創造する傾向の表れ

TAN-Q (児童の探究的な学びに関するアンケート)

児童が自分の学びをどのように探究的に捉えているか、その意識や姿勢を把握するために実施。

	平均値			平均値の差			標準偏差			標準偏差の差
	①回目	②回目	③回目	②-①	③-②	③-①	標準偏差①	標準偏差②	標準偏差③	
1	3.29	3.41	3.59	0.12	0.18	0.29	0.85	0.71	0.51	-0.34
2	3.18	3.18	3.29	0.00	0.12	0.12	0.81	0.81	0.69	-0.12
3	2.94	3.24	3.35	0.29	0.12	0.41	0.75	0.66	0.49	-0.25
4	2.82	3.41	3.53	0.59	0.12	0.71	0.95	0.71	0.62	-0.33
5	2.71	3.24	3.35	0.53	0.12	0.65	0.85	0.56	0.61	-0.24
6	3.47	3.65	3.76	0.18	0.12	0.29	0.62	0.49	0.44	-0.19
7	3.18	3.18	3.35	0.00	0.18	0.18	0.64	0.73	0.70	0.07
8	3.00	3.06	3.35	0.06	0.29	0.35	0.50	0.83	0.70	0.20
9	2.59	3.00	3.24	0.41	0.24	0.65	0.62	0.71	0.66	0.05
平均	3.02	3.26	3.42	0.24	0.16	0.41	0.73	0.69	0.60	-0.13

【平均的な割合の推移】

4の割合: 1回目 (20.1%) → 2回目 (30.9%) → 3回目 (36.8%)
 3の割合: 1回目 (39.2%) → 2回目 (32.8%) → 3回目 (33.3%)
 2の割合: 1回目 (12.7%) → 2回目 (11.3%) → 3回目 (4.9%)
 1の割合: 1回目 (2.9%) → 2回目 (0%) → 3回目 (0%)

・「できている」「取り組んでいる」と感じる児童が増えた傾向。

【伸びが大きかった項目】

- ④ 次につながることを考える: +0.706
- ⑤ 比べながら考えを深める: +0.647
- ⑨ 変化をふり返る: +0.647
- ③ 自分の言葉で表そうとする: +0.412

【上昇幅が比較的小さかった項目】

- ② 生活・経験とつなげて考える: +0.118
- ⑦ 伝わるように話す/書く: +0.176

・学びの循環が強まっている。
 = 単元末のふりかえりの記述と一致
 ・②⑦に関しては、1回目から比較的高い数値。

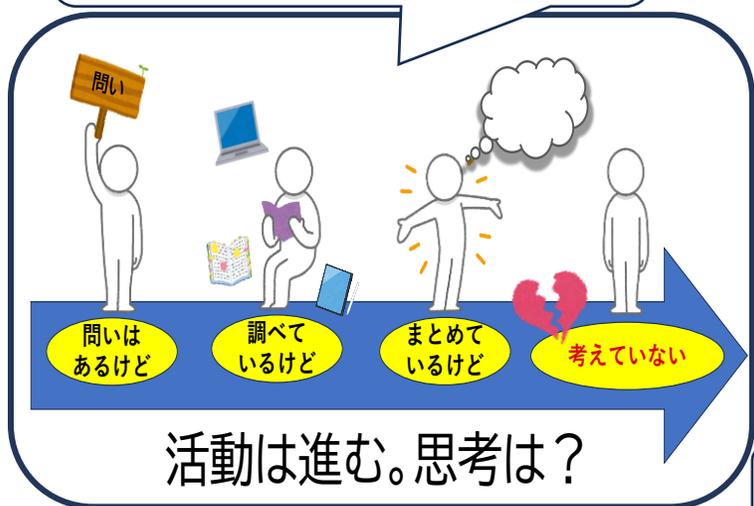
【標準偏差が最も縮小した項目】

- ① わからない→なぜだろうと考える: -0.342
- ④ 次につながることを考える: -0.327
- ③ 自分の言葉で表そうとする: -0.255
- ⑤ 比べながら考えを深める: -0.243

・学び方に関する共通の見通しが学級内に形成されつつある。
 ・「わかる・わからない」よりも、考え方や受け止めの多様性が育ってきた。

本研究における「問い」とは

「問い」があるだけでは、
探究的な学びにはならない。



児童の思考と学びを
前に進める力を
もっている



問い

思考を
動かしているか
を見取り、関わる



何をするかより「どう考え続けるか」

手を離すのではなく「手を出す場面を選ぶ」

個別

児童が自分で問いを創出したからこそ、
他者の考えに出合うことで学びは広がり、
授業が自分ごとの学びとなった。

協働

「主体的・対話的で深い学び」の実現を通じた

自らの人生を舵取りする力と 民主的で持続可能な社会の創り手 育成 (今後の検討イメージ)

補足イメージ1-②

「好き」を育み、「得意」を伸ばす
(興味・関心)



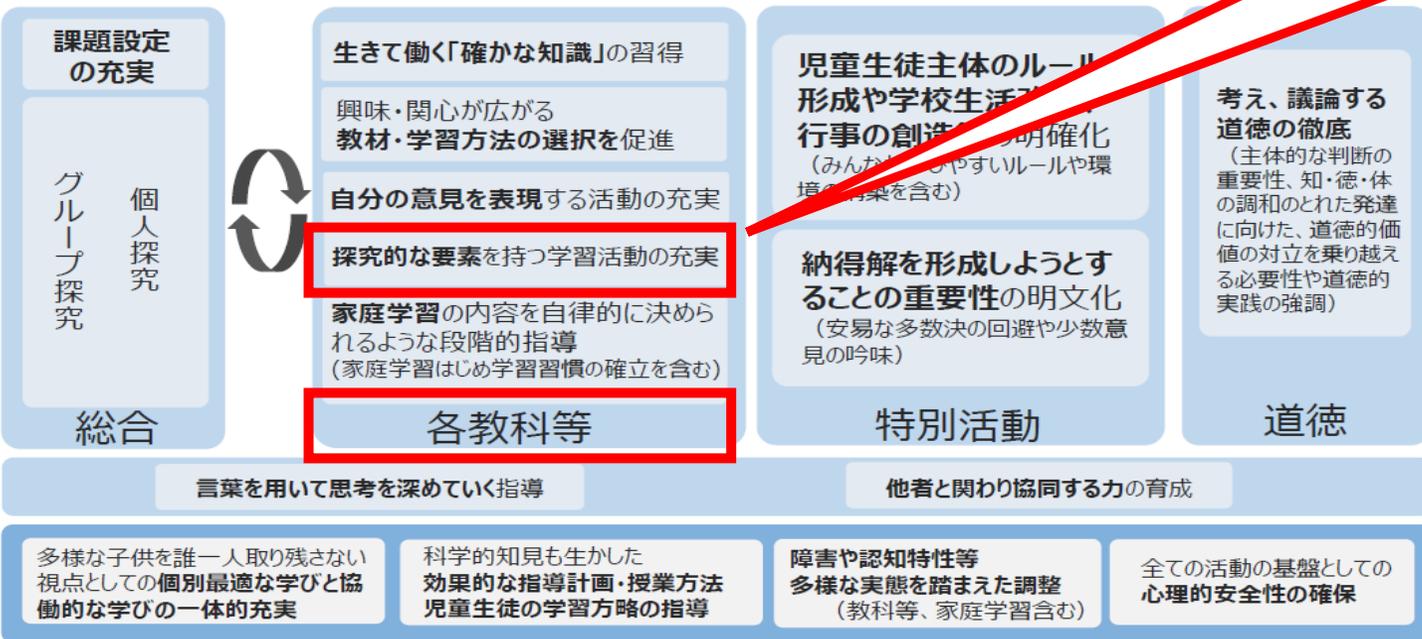
当事者意識を持って、自分の意見を
形成し、対話と合意ができる

探究的な要素を持つ学習活
動の充実

【各教科等での検討イメージ】

好き・得意をベースとした
主体的な進路選択の促進

高
中
小
幼



※本イメージ図は、自らの人生を舵取りする力と民主的で持続可能な社会の創り手育成という今後の検討の一部を資料化したものであり、学習指導要領の改訂に関わる全ての要素を網羅する性質のものではない



◆「教科学習×探究的な学び」

→総合的な学習の時間だけではなく、各教科においても求められる“探究的な学び”の取り組み方とは。

◆教師の支援

→教師の役割は状況によって変わる。(いつ、どのように、どのくらい…)

◆「児童の実態」と「探究的な学びの評価」の捉え方

→学力や発言量からでは測れない姿、児童の育ちつつある側面をどう捉え続けるか。

◆カリキュラムづくり

→持続可能な“探究的な学び”にするために。

教科を通して自己の学びを創造する、探究的な学び

～問いを起点として学びを切り拓き、自分の考えを育む児童～

ご協力、よろしくお願いいたします。



アンケートはこちらから



算数・国語で探究



SKC

京都市総合教育センター

そうだ
探究、
しよう。

TAN-Q

【本スライドで使用した参考文献】

- ・松本謙一「“学習”としての“探究”－問い直さなければならない『「話し合い」観』－探究学習モデル」指導と評価 協働出版(2025.08)p.7-p.9[p.7]

【国語科並行読書リストの一部】

- ・「ライト兄弟」 鶴見正夫 (2006) ひさかたチャイルド
- ・「ヘレン・ケラー」 武鹿悦子 (2006) ひさかたチャイルド
- ・「野口英世」 こわせたまみ (2006) ひさかたチャイルド
- ・「世界でさいしょのプログラマー- エイダ・ラブレスのものがたり -」 フィオナ・ロビンソン (2017) 評論社
- ・「アンネ・フランク」 ジョゼフィーン・プール (2005) あすなる書房
- ・「マザー・テレサ- あふれる愛 -」 沖守弘 (1984) 講談社
- ・「時代をきりひらいた日本の女たち」 小杉みのり (2021) 岩崎書店
- ・「はじめての伝記15話」 西本鶏介 (2015) 学研プラス
- ・「すぎはらちうね- 6000人の命を救え! -」 間部香代 (2017) チャイルド本社
- ・「ちくま評伝シリーズ 藤子・F・不二雄」 筑摩書房編集部 (2014) 筑摩書房
- ・「ちくま評伝シリーズ 岡本太郎」 筑摩書房編集部 (2014) 筑摩書房
- ・「お札に描かれる偉人たち」 楠木誠一郎 (2019) 講談社
- ・「大地をうるおし平和につくした医師 中村哲物語」 松島恵利子 (2022) 汐文社
- ・「せかいがかがやく おんなのこのでんきえほん」 堀米薫 (2023) 西東社
- ・「10分で読める伝記 4年生」 塩谷京子 (2019) 学研プラス
- ・「10分で読める伝記 5年生」 塩谷京子 (2019) 学研プラス
- ・「10分で読める伝記 6年生」 塩谷京子 (2019) 学研プラス

- ・「ちくま評伝シリーズ やなせたかし」 筑摩書房編集部 (2015) 筑摩書房
- ・「勇気の花がひらくとき」 梯 久美子 (2015) フレーベル館
- ・「やなせたかし 愛と勇気を子どもたちに (伝記を読もう)」 中野晴行 (2016) あかね書房
- ・「やなせたかし」 筑摩書房編集部 (2015) 筑摩書房
- ・「アンパンマン伝説」 やなせ たかし (2023) フレーベル館
- ・「何のために生まれてきたの？」 やなせ たかし (2024) PHP研究所
- ・「オイドル絵ッセイ 人生、90歳からおもしろい！」 やなせ たかし (2009) フレーベル館
- ・「あんぱんまん (やなせたかしのあんぱんまん1973 新装版)」 やなせ たかし (2022) フレーベル館
- ・「やなせたかし おとうものがたり」 やなせ たかし (2014) フレーベル館
- ・「やなせたかしの世界 (増補版)」 やなせ たかし (1996)
- ・「チリンのすず (名作えほんシリーズ)」 やなせ たかし (1978)
- ・「やさしいライオン (名作えほんシリーズ)」 やなせ たかし (1975)
- ・「さよならジャンボ (名作えほんシリーズ)」 やなせ たかし (1997)